

平成 29 (2017) 年度

利用のしおり



京都府立 るり溪少年自然の家

《自然の家の予約・問い合わせ》

京都府立るり溪少年自然の家（グリーンパルるり溪）

〒622-0065 京都府南丹市園部町大河内小米阪1番地9
TEL 0771-65-0190 / FAX 0771-65-0191

HP <http://www.kyoto-rurikei.jp/>

もくじ

京都府立るり溪少年自然の家（概要）	1
利用当日までの流れ	2
利用の計画にあたって	3
安全管理・省エネについて	4
健康管理について	5
その他	6
館内食堂の利用について	7
野外炊飯について	8
シーツと寝具について	1 2
清掃場所と内容について	1 3
退所点検チェック表	1 4
料金表	1 5
施設平面図	1 6
館内食堂・クラフト棟平面図	1 7
◆プログラム集		
クラフト制作について	1 9
キャンプファイア・キャンドルファイアの準備・片づけについて	2 0
キャンプファイアの活動例	2 2
キャンドルファイアの活動例	2 4
深山ハイキング	2 5
クイズラリーマップ	2 6

京都府立るり溪少年自然の家(概要)

名勝るり溪と通天湖、眺望のすばらしい深山(791m)連峰にかこまれた緑豊かな高原に、京都府立るり溪少年自然の家があります。このすばらしい環境で自然に親しみ、自立、協同、友愛、奉仕などの尊さを学び、豊かな人間性を育む社会教育施設です。

■施設

【本館】	○宿泊室	1階 和室	10部屋(寝具数15名分)
		1階 リーダー室	2部屋(寝具数4名分、3名分)
		2階 和室	8部屋(寝具数10名分)
		2階 リーダー室	2部屋(寝具数4名分、3名分)
	○付帯設備	プレイホール	定員300名(23m×11m=253㎡)
		研修室	定員200名(16m×12m=192㎡)
		談話室	定員24名(10m×6m=60㎡)
		食堂	定員210名
		浴室①	定員15名(カラン:10)
		②	定員20名(カラン:12)
談話室コーナー(2箇所)			
保健室			

【クラフト棟】 定員70名(12m×11m=132㎡)

【営火場】 2箇所(営火場A、営火場B)

【キャンプ場】 野外炊飯場(定員120名)、テントサイト

■所在地

〒622-0065

京都府南丹市園部町大河内小米阪1番地9

TEL 0771-65-0190 / FAX 0771-65-0191

利用当日までの流れ

■事前協議会・野外活動オリエンテーションについて

当日の活動を円滑に実施するために、2ヶ月前をめどに事前協議会・野外活動オリエンテーションを以下の目的で実施します。

(1) 野外活動オリエンテーション

利用団体指導者が、野外活動（野外炊飯、キャンプファイヤー等）に関する基本的な知識を習得する機会とする。

(2) 事前協議会

ア 団体指導者に利用に関する使用申請書類、留意事項等について周知する。

イ 団体指導者に活動可能なプログラムを提示する。

ウ 利用団体が希望する日程や活動プログラムを把握するとともに、団体間の調整を図り、円滑に進行できる日程及び活動プログラムを作成する。

エ 団体指導者の当施設の下見の機会とする。

※事前協議会・野外活動オリエンテーションに出席されない場合は、希望に沿った活動ができないことがあります。御注意ください。

■下見について

事前協議会・野外活動オリエンテーションとは別に自然の家に下見にお越しいただく際は、事前に御連絡をお願いします。事前連絡がなく下見に来られた場合は、当日の利用団体の関係で、十分な対応ができない場合があります。

■必要書類の提出について

利用日の**1ヶ月前**までに以下の書類を御提出ください。

①京都府立るり溪少年自然の家 使用承認申請書【第1号様式】

②京都府立るり溪少年自然の家 使用承認申請書【第2号様式】

③京都府立るり溪少年自然の家 減免申請書【第3号様式】

④食事数申込書

⑤利用日程表

⑥京都府立るり溪少年自然の家 宿泊者名簿（※利用日当日の提出でも構いません）

⑦冷暖房使用申込書

⑧備品借用及び教材購入申請書

⑨給食・野外炊飯メニュー アレルギーマニフェストシート

⑩その他必要な書類

※提出書類は、押印のうえ、郵送もしくは持参をお願いします。

※②、③、⑦～⑩については、必要な団体のみ提出してください。

■書類提出から利用当日まで

- ・提出書類が届きましたら、書類内容の確認を行い、不明な点がありましたら連絡します。また、内容の変更がありましたら、連絡をお願いします。

■御利用のキャンセルについて

(1) 気象警報発令によりキャンセルされた場合

自然の家は、気象庁の区分において「京都府の南部」、「南丹市」になります。自然の家から利用団体へ気象警報発令等の情報提供はいたしませんので、団体毎に気象情報等を確認のうえ、実施・中止の判断を行ってください。利用を中止される場合は速やかに御連絡ください。なお、この場合のキャンセル料は不要です。

(2) 利用申請書類一式を提出後に団体の都合で利用をキャンセルされた場合

食費に関しては下記のキャンセル料が発生しますので予め御承知おきください。

- ・利用日開始日の7日前まで → キャンセル料は発生しません。
- ・利用開始日6日前から前日 → キャンセル料 食費×50%×食事申込数+振込手数料
- ・利用開始日の当日 → キャンセル料 全額+振込手数料

利用の計画にあたって

■基本的な生活時間帯について

4月～9月	13:00	16:30	19:00	21:30	22:00	6:00	7:30	9:00	11:30	12:50	
生活の内容	入所・入所式 ・入所ミーティング(打合せ) ・入所手続 ・開校式(団体毎)	係活動 (夏季) 夕食 入浴		活動	就寝準備	消灯・就寝	起床 ・洗面・寝具整理 ・朝の集い・体操 ・清掃活動	朝食	活動	昼食	退所式・退所
		(冬季) 夕食	活動	入浴							
10月～4月	13:00	16:30	19:00	21:30	22:00	6:30	7:30	9:00	11:30	12:50	

■生活の留意事項(生活時間帯に沿って)

(1) 入所

入所時間…入所・退所は13:00が基本です。昼食は持参してください。

入所式…団体毎に実施してください。

入所式後

(ア) 入所後ミーティング(打合せ)…各担当の方は事務室へお越しください。

※館内の利用方法についても再度確認します。また、入所式後にスタッフからオリエンテーションを実施することもできます。

(イ) 入所手続き…会計担当者の方は、事務室に確定した宿泊人数と食事数をお伝えください。

(2) 食事

①館内食

- ・準備・片付け…「館内食堂の利用について」(P7)を参照
- ・配膳は食事開始時間の15分前からです。
- ・メニュー…別紙「館内食堂(標準食)メニュー表」、「館内食堂(特別食)メニュー表」を確認してください。
- ・その他…食事の食堂外への持ち出し及び食堂への飲食物の持ち込みは御遠慮願います。

②野外炊飯

- ・準備、実施、片付け…「野外炊飯について」(P8～)を参照
- ・メニュー…別紙「野外炊飯メニュー表」を確認してください。
※食材を持ち込みする場合は館内食を利用できませんので、御注意ください。

③弁当

- ・鮭弁当と鶏照り弁当の2種類あります。
- ※11時以降に食堂でお受取りください。

◇食数等の変更ならびにキャンセルについて

- ・申込書類提出後に食数等の変更があった場合は、電話にて御連絡ください。

「6食以上の食数変更」、「提供内容の変更」の場合	利用開始日の1週間前の17:00まで
[パン、ジュース注文数の変更]の場合	利用開始日の3日前の17:00まで
「利用当日の5食以内の変更」	利用当日の前日の17:00まで

◇アレルギー対応について

※別紙「アレルギー対応について」を参照

※食物アレルギー対応シートの提出が利用直前の場合は、対応できない場合があります。

(3) 入浴

- ・団体毎の所定の時間内に入浴を済ませてください。
- ・入浴後、洗面器・腰掛けは互い違いに積んでください。(衛生上、乾燥させるため)
- ・ボディソープ、シャンプー&リンスは備えています。アレルギーその他の理由がある場合はご持参いただいてもかまいません。

(4) 寝具

- ・室内掲示板のとおりたたみ、押入れに収納してください。…「シーツと寝具について」(P12)を参照
 - ・寝具の汚れ…事務所に必ず御連絡ください。
- ※退所時、洗濯料(毛布・敷き布団・掛け布団各1枚1,500円、枕330円)をお支払いください。

(5) シーツ

宿泊される方は全員シーツ(有料)を利用させていただきます。(キャンプ場利用で、寝袋を持参される方は除きます)

- ①受取り…シーツ室にて担当指導者が手渡してください。「シーツと寝具について」(P12)を参照
※ハサミでヒモを切り、ヒモは保管箱に入れてください
- ②返却…規定通りにたたみ、10枚1組にして2カ所をヒモで縛り、使用済棚へ置いてください。
- ③2泊3日の場合、シーツは2泊とも同一のものを御使用ください。3泊以上の場合は2日おきに新しいシーツと取り替えてください。

(6) 清掃

①清掃場所…事前協議会にて決定します。

・共有スペースの清掃もお願いします。

②清掃内容及び人数の目安…「**清掃場所と内容について**」(P13)参照

◇トイレ…清掃後はトイレットペーパー(シーツ室に保管)と手洗い用消毒液(トイレ清掃用具庫に保管)を補充してください。

◇浴室…足拭きマットは、晴天時は屋外テラスの物干場に、雨天時は浴室付近の長椅子に、干してください。

③その他

・清掃時に出たゴミは、事務室前のゴミ箱に入れてください。

(7) 退所

①退所点検

退所日の清掃終了後、「**退所点検チェック表**」(P14)により担当指導者で確認してください。

②退所日の9:30をメドに、担当指導者とともに職員による最終チェックを行います。

③退所式(閉校式)…プレイホールまたは研修室等にて団体毎に実施してください。

安全管理・省エネについて

①宿泊室を離れる際は、窓の施錠・消灯・扉閉めをお願いします。

②浴室の窓は、不必要に開けないでください。

③団体の指導者は必ず名札を着用してください。

※団体で準備されていない場合は当所で用意している所定の名札を御利用ください。

④現金や貴重品等は、各団体で責任を持って管理してください。宿泊室に金庫がありますので御利用ください。(鍵は事務所にてお貸しします)

⑤不審者および不審車両を発見された場合は、速やかに事務室まで連絡してください。

⑥入所した際に、必ず避難経路の確認をお願いします。

避難経路図は1階→プレイホール前廊下の壁、2階→談話室前廊下の壁に掲示してあります。

⑦夜間…消灯は22:00です。消灯後の外出は禁止です。緊急時は管理人室へ連絡してください。

健康管理について

①2団体以上が同宿する場合には、割り当てられた宿泊室内で保健室を設置してください。

②救急薬品及び常備薬等は団体で持参してください。

③病気・けが等で救急医療を必要と判断される場合は、事務室に連絡してください。

◇主な近隣医療機関

病院名	住所・所要時間	連絡先
園部丹医会病院	南丹市園部町美園町5号8-7 (自然の家より車で約35分)	TEL 0771-62-0515
京都中部総合医療センター (旧称 公立南丹病院)	南丹市八木町八木上野25 (自然の家より車で約45分)	TEL 0771-42-2510(代)

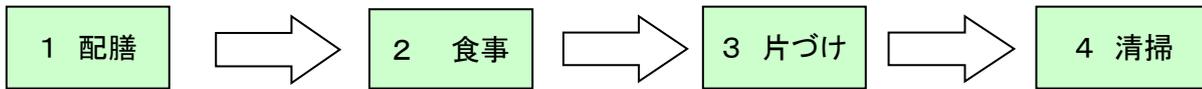
- ④自然の家事務所には、A E D（自動体外式除細動器）を設置しています。
- ⑤病院搬送用の車を団体で御用意ください。
- ⑥健康保険証のコピーに関する問い合わせは、予め医療機関に御確認ください。

その他

- ①館内では、スリッパを使用してください。（学校・園の上靴を使用していただいてもかまいません）
- ②可燃物・不燃物を問わず、利用団体の出されたごみはお持ち帰りください。
- ③入所当日の弁当ゴミは、専用のビニール袋（1袋60円）を購入いただければ処分いたします。
- ④喫煙所は屋外にあります。館内はすべて禁煙ですので、指定された場所をお願いします。喫煙された場合は、退所前に灰皿の吸い殻を職員通用口横の吸い殻入れに処分してください。
- ⑤ヘアードライヤーの持込は御遠慮ください。
- ⑥自然の家は社会教育施設です。酒類の持込、飲酒行為は禁止しています。
- ⑦水筒などへのお茶の提供は、食事を注文された方のみ可能です。ただし、お茶の提供は食事時間のみとなります。それ以外の時間は、洗面所の冷水器、給湯器の使用、もしくはお茶（茶葉）をご持参ください。
- ⑧雨天時の活動内容についても入念に御計画ください。

館内食堂の利用について

<食事の流れ>



■ 配膳準備

食事係の指導者及び児童・生徒等が食事開始時刻15分前から準備します。

内容

- ・食事数の確認
- ・それぞれの席に、食事トレイ、ご飯、汁物、湯茶、箸の配膳
- ・必要に応じて、しょうゆ、ドレッシング等の調味料をテーブルに配置



数を確認してから配膳してください

■ 食事

定刻に食事を開始してください。



■ 片付け

食事係の指導者及び児童・生徒等が中心となり、テーブル毎に同じ食器類や残飯をかためるなどの工夫をしてください。

(各自が食器類を持って並ぶのは控えてください)

食器の返却



◇シャワーを流さなくてもよいもの（湯飲み茶碗、汁椀等）

◇シャワーを流すもの（トレイ、ご飯茶碗等）

◇汁の残り、残った湯茶

やかんは洗ってから元の場所へ、炊飯ジャー、なべ、箸、調味料等もそれぞれの場所へ返却してください。



食堂窓側にあります。使用後は洗って返却してください。

■ 清掃

内容

- 1 布巾をしぼり、テーブルの上をきれいに拭く
- 2 テーブルの下の残飯やゴミを拾う
- 3 床がぬれている時は雑巾で乾拭きする
- 4 使った布巾、雑巾を洗い、元の場所へ返す



食堂右奥にあります。ほうき・雑巾が入ってます。

野外炊飯について

炊飯活動は、当施設の屋外炊飯場にて実施できます。子どもたちが活動する場合は安全確保のためにも指導者は十分な準備のもと実施するようにしてください！

野外炊飯の流れ



準備

メニューを決める

- * 別紙「野外炊飯メニュー表」より選んでください。
- * 食材は食堂ですべてご用意します。持ち込みは遠慮いただいております。
(ただし、ご利用期間中の全食事を自炊される場合は持ち込みを認める場合があります)
- * ご飯は食堂で炊くこともできます。(必ず「食数申込書」に記入してください)
- * 食数を変更される場合は入所日前日まで可能です。

計画を立てる

(1) 所要時間

準備から片づけまで、3時間30分～4時間を見込んで計画してください。

食材受取時間 昼食の場合:9時～9時半 夕食の場合:14時半～15時が基本です。

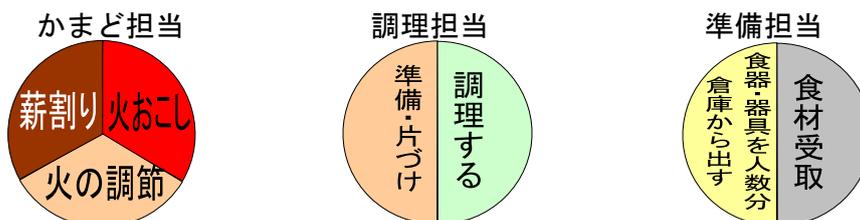
(2) 準備物

自然の家で	準備できます ○	飯ごう・鍋・やかん・包丁・まな板、めし椀・湯のみ・皿・スプーン・しゃもじ・玉じゃくし、たわし・なた・火ばさみ・スコップ・一輪車
	準備できません ×	各団体でご用意ください おはし・軍手・新聞紙・マッチ・洗剤 ふきん(台ふき用・調理器具用の2種類)
	その他	自然の家で材料を購入された場合は、「洗剤」を御用意します。

- * 焼き肉の際、七輪を使用される場合は「炭」を御準備ください。
- * 一つの七輪で6名が利用できます。
- * 「炭」の量は、一つの七輪に2kgを目安にしてください。

(3) 作業内容の確認と役割分担

大きく分けて以下の作業が考えられます。



屋外炊飯場について

(1) かまど 固定式かまどが屋内と屋外にあります



固定式かまど(屋内):
屋根のある場所に16基の
かまどが設置してあります。



固定式かまど(屋外):
屋根のない場所に16基の
かまどが設置してあります。

(2) 調理・食事の場所



調理台:
食材を切る等の作業はこ
ちらでお願いします。



食事席:
約120名が利用できるテー
ブルと長いすが用意してあり
ます。

(3) トイレ・薪庫



トイレ:
使用される場合は清掃を
お願いします。



薪庫:
食事場の横にある薪庫から炊
飯用の薪を使用してください。
薪1束でかまど約2つ分の火力
があります。

(4) プレハブ倉庫(食器・調理器具庫)



プレハブ倉庫外観

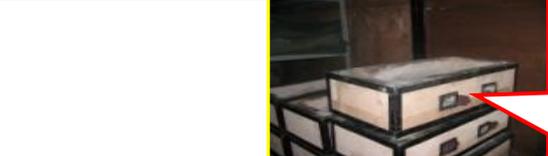
プレハブ倉庫内:
食器・調理器具等は念のた
め洗ってから使用してくださ
い。
鍋や飯ごうは蓋や取っ手、
中蓋は別々に収納してあり
ます。飯ごうは蓋の合うも
のを使用し、洗った後は蓋
をはずし飯ごうの中に入れ
てください。
中蓋は計量用です。



ゴミ箱:
このバケツはゴミ袋を内側
に置いて、ゴミ箱としてお使
いください。(バケツは洗っ
て返してください)



コンテナ:
調理器具・食器の持ち出し
用にお使いください。



七輪:
焼き肉をされる場合、七輪
の使用も可能です。ただし、
炭は各団体でご用意いま
す。

実施

食材を取りに行く

- * 食材の受取は食堂の裏口でお願いします。
- * 食材はかごに入れた状態でお渡しします。
(班毎に食材を分けて入れてあります。受け取りの際には、班の人数を知らせてください)
ゴミ袋について **黒い袋**・・・生ゴミ用
白い袋・・・燃えるゴミ用・燃えないゴミ用(ビニール、ラップ等)
- * 食材の入っていたかごは、食堂の裏口に返却してください。



調理

調理の際の注意点

- * かまどと洗い場の間は混み合いますので注意してください。
- * やかんを火にかける場合、直接かけてしまうと真っ黒になってしまいます。
(館内洗面所の給湯器よりお湯を入れることをおすすめします)

薪割りについて

- * 薪割りを早い段階ではじめるとスムーズに調理ができます。
- * なたを持つ手に軍手はつけず、もう片方の手に二重につける。
なたの刃を傷つけないために、必ず下に薪をしいて割るか
薪割り台を使用してください。(写真)



基本的に使う前の状態にしていただきます。
ただし、食器、調理器具については職員の点検を受けてから収納してください。

片づけ

清掃ポイント



流し：
洗い場の排水溝に溜まった生ゴミ等もきれいに取り除いてください。



生ゴミを捨てる場所：
黒い袋(生ゴミ用)は食堂裏のポリバケツの中に捨ててください。



灰を捨てる場所：
かまどに残った灰等は、残灰置き場へ運んでください。
(絶対にかまどには水をかけない！)



ゴミを捨てる場所：
白い袋(燃えるゴミ、不燃物)は袋のまま、食堂裏の燃えないゴミ入れに入れます。

※トイレを使用した団体は、トイレの清掃をお願いします。

点検

最後に職員が点検します。以下の点に注意してください

(1)食器類の点検	ア 鍋や飯ごうにススや米粒等が付いてないか？ イ 食器類等に汚れが残ってないか？ ウ 食器や鍋等がふきんで拭けているか？ (ふきんは持参してください)
(2)かまどの点検	灰をほうきで掃き出してあるか？
(3)洗い場の点検	排水溝に残飯等が残ってないか？
(4)食事席の点検	ゴミが落ちてないか？

※食器類は、職員の点検の後収納してください。

(実施例：グループごとに職員に見せ、OKであれば倉庫にしまう)

実施前の最終確認

野外炊飯チェックシート

項 目	チェック
食器類・調理器具類の置いてある場所は？	
食材を受け取る場所は？	
食材を受け取る時間は？	
灰を捨てる場所は？	
ゴミを捨てる場所は？	
ゴミ袋、白い袋と黒い袋とはゴミをどう分けるのか？	
薪はどうやって割るのか？	
団体で持ってくるものは？	
食事数の変更はいつまでに連絡すればいいか？	
ご飯を食堂で炊く場合、どうやって運ぶのか？	

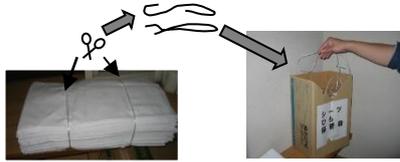
シーツと寝具について

■シーツの受取りと返却

シーツは、シーツ室にあります。担当指導者が必要な枚数を手渡しして下さい。

(受け取り)

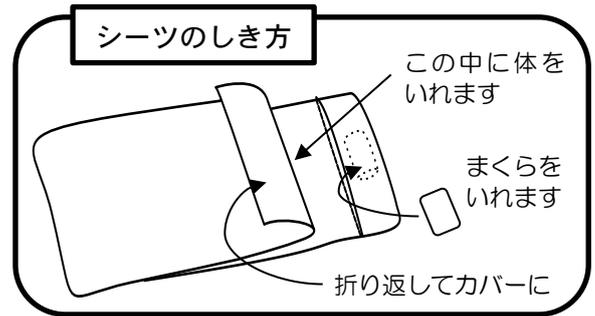
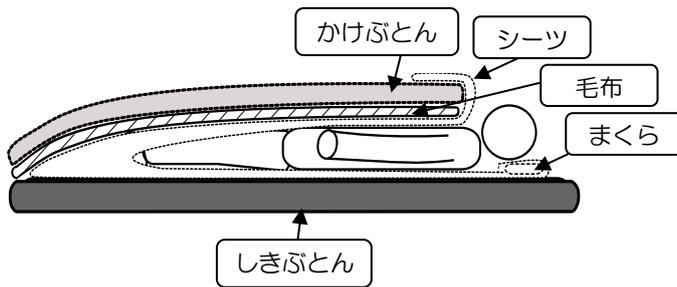
ひもをはさみで切り、ひもは保管箱に入れてシーツのみ手渡ししてください。



(返却)

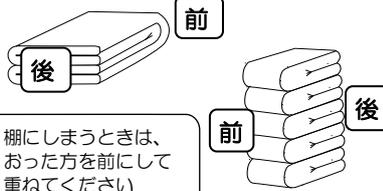
保管箱のひもを使い、シーツを10枚1組にし、2カ所で縛り、使用済棚へ置いてください。

■シーツとふとんのしき方



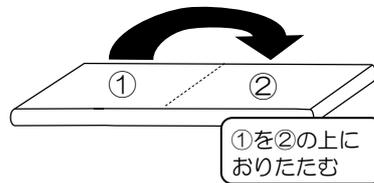
■寝具類のたたみ方

かけぶとんのたたみ方



棚にしまうときは、おった方を前にして重ねてください

しきぶとんのたたみ方



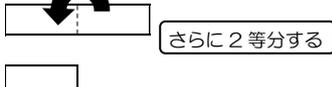
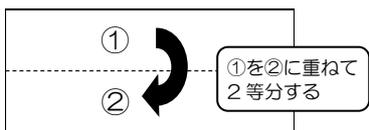
棚にしまうときは、おった方を前にして重ねてください



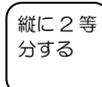
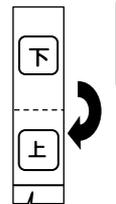
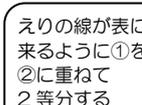
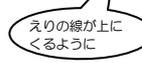
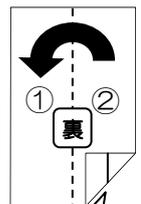
かけぶとんの縦のおりめは、右側にくるようにおいてください

棚にしまうときは、おりめが前にくるようにきちんとそろえて重ねてください

シーツのたたみ方



毛布のたたみ方



えりの線が棚の奥に、おりめが前にくるようにきちんとそろえて重ねてください

まくら 8個 毛布 8枚 (1階)

まくら 7個 毛布 7枚 (1階)



えりの線が奥、おりめが前、横のおりめが右側、ヒラヒラが左側にくるようにきちんとそろえて重ねてください

まくら 5個 毛布 5枚 (2階)

まくら 5個 毛布 5枚 (2階)



清掃場所と内容について

	場 所	標準人数	内 容
1	宿泊室	5	○たたみの上をはく。 ○ゴミ箱のゴミを捨てる。 ○荷物入れの中をぞうきんでふく。
2	ベランダ（利用部屋）	1	○ゴミを拾う。 ○はき物をそろえる。
3	宿泊室前の廊下 ①1階 ②2階	各3	○そうじ機でゴミを吸い取る。 ※延長コードを使用してください。
4	階 段 ①階段1 ②階段2	各3	○そうじ機でゴミを吸い取る。 ※延長コードを使用してください。 ○階段の手すりをぞうきんでふく。
5	洗面所 ①1階 ②2階	各4	○棚、鏡などをふき、流し台をスポンジで洗う。 ○ゴミ箱のゴミを捨てる。
6	便 所 ①1階 ②2階 ③玄関	各4	○床を洗う。 ○便器を洗う。 ○手洗い場の鏡をふく。 ○汚物を捨てる。 ○ゴミ箱のゴミを捨てる。 ○消毒せっけん液を補充する。 ○トイレットペーパーを補充する。
7	玄関ホール	5	○そうじ機でゴミを吸い取る。 ○下足箱を整理する。
8	玄関ポーチ、玄関土間 テラス ①テラス1 ②テラス2	10	○ゴミを拾う。 ○マットのよごれを取り除く。 ○ほうきではく。 ○土間用そうじ機で土間のゴミを吸い取る。
9	資料コーナー	4	○そうじ機でゴミを吸い取る。 ○机や展示ケースなどをふく。 ○備品（いすなど）をそろえる。
10	プレイホール	8	○モップでゴミを集め、捨てる。
11	研修室	6	○モップでゴミを集め、捨てる。
12	クラフト棟	6	○机とイスをふく。 ○そうじ機でゴミを吸い取る。
13	浴 室 ①浴室1 ②浴室2	各5	○洗い場をブラシでこする。 ○洗面おけ、腰掛けいすを洗って整とんする。 ○脱衣場をほうきではく。 ○脱衣場、ボックスのぞうきんがけをする。 ○足ふきマットをほす（退所前に入れる）。 ○ゴミ箱のゴミを捨てる。
14	食堂	食事係	○最後の食事後、床のそうじをする。
15	食堂前の廊下	4	○そうじ機をかける。 ○流し台を洗う。
16	営火場 ①営火場A ②営火場B	4	○残灰をバケツもしくは一輪車に集めて、残灰置き場に捨てる。
17	キャンプ場 （テント泊のみ）	8	○テントサイト、野外炊飯場、便所を清掃する。 ○キャンプ場周辺のゴミ拾いをする。

退所点検チェック表

宿 泊 室

No	項 目	チェック
1	寝具は規定数ありますか。	
2	寝具は規定通りたたんで収納されていますか。	
3	ベランダのスリッパはきちんと整頓されていますか。	
4	清掃用具は規定数(ほうき3, ちりとり2)ありますか。	
5	畳、荷物入れがきれいになっていますか。	
6	ゴミ箱のゴミが捨ててありますか。	
7	忘れ物はありませんか。	
8	窓は施錠できていますか(カーテンは開いていますか)。	
9	冷暖房のスイッチは切れていますか。	

ト イ レ (退所前に再点検)

No	項 目	チェック
1	便器がきれいになっていますか。	
2	トイレットペーパーは補充されていますか。	
3	消毒せっけん液は補充されていますか。	
4	汚物が除去されていますか(袋が補充されていますか)。	
5	清掃用具は整頓されていますか。	
6	ゴミ箱のゴミが捨ててありますか。	
7	スリッパがきちんと整頓されていますか。	

浴 室

No	項 目	チェック
1	窓は開けてありますか。	
2	洗面おけ、腰掛けいすはきちんと並べてありますか。	
3	忘れ物はありませんか。	
4	足拭きマットはテラス(雨天時は浴室前長いす)に干してありますか。	
5	清掃用具は整頓されていますか。	

指導者による点検終了後、職員から最終点検を受けてください。不十分な箇所はやり直し、再度職員の点検を受けてください。「来たときよりも美しく」、御協力のほどお願いします！

料 金 表

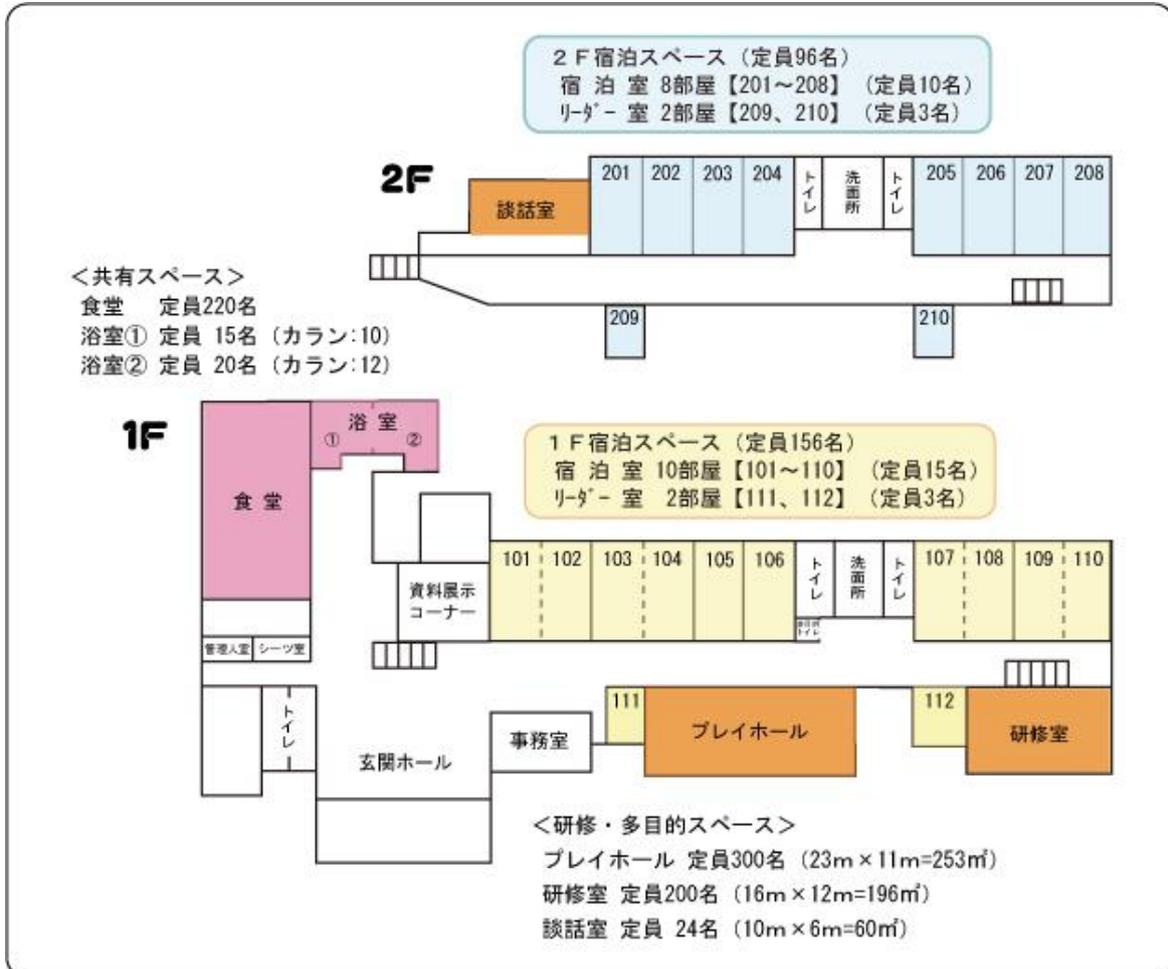
区 分	経 費 内 訳				備 考
使 用 料	■宿泊利用				
		小・中学生	高校生	大学生・一般	
	館内泊	300円	500円	1,000円	
	テント泊	200円	350円	700円	
	■日帰り利用				
	プレイホール	2,500円			
	研修室、クラフト	2,000円			
シーツ代	1人あたり150円（2泊まで）				
食 事	朝食	昼食	夕食	合計	弁当 600円 特別食：要相談
	350円	460円	570円	1,380円	
冷暖房		暖房費	冷房費	備考	宿泊室 時間区分 14:00～22:00 22:00～6:00 6:00～14:00
	宿泊室	940円	480円	1室8時間	
	プレイホール	750円	690円	1時間単価	
	研修室	530円	470円		
	談話室	240円	120円		
	クラフト室	530円	470円		
クラフト 材料	ペンダント	キホルダー	焼き板 (大)	焼き板 (小)	万華鏡
	50円	100円	300円	150円	230円
	*焼き板用具セット（ヒートン、ヒモ）：1人あたり30円				
	*焼き板サイズ：大240mm×540mm、小115mm×185mm				
	*万華鏡は買い取りになります。				
薪 ろうそく	キャンプファイ 薪	野外炊飯 薪		ろうそく 1本	
		大、木皮	小	大	小
	550円	400円	300円	10円	5円
*キャンプファイ用の灯油は、1缶あたり100円です。					
パ ン ジュース	パ ン（クリーム、チョコ、小倉）			120円	
	ジュース（バヤリースオレンジ 350ml）			110円	
生ゴミ用袋	1枚60円				

施設平面図

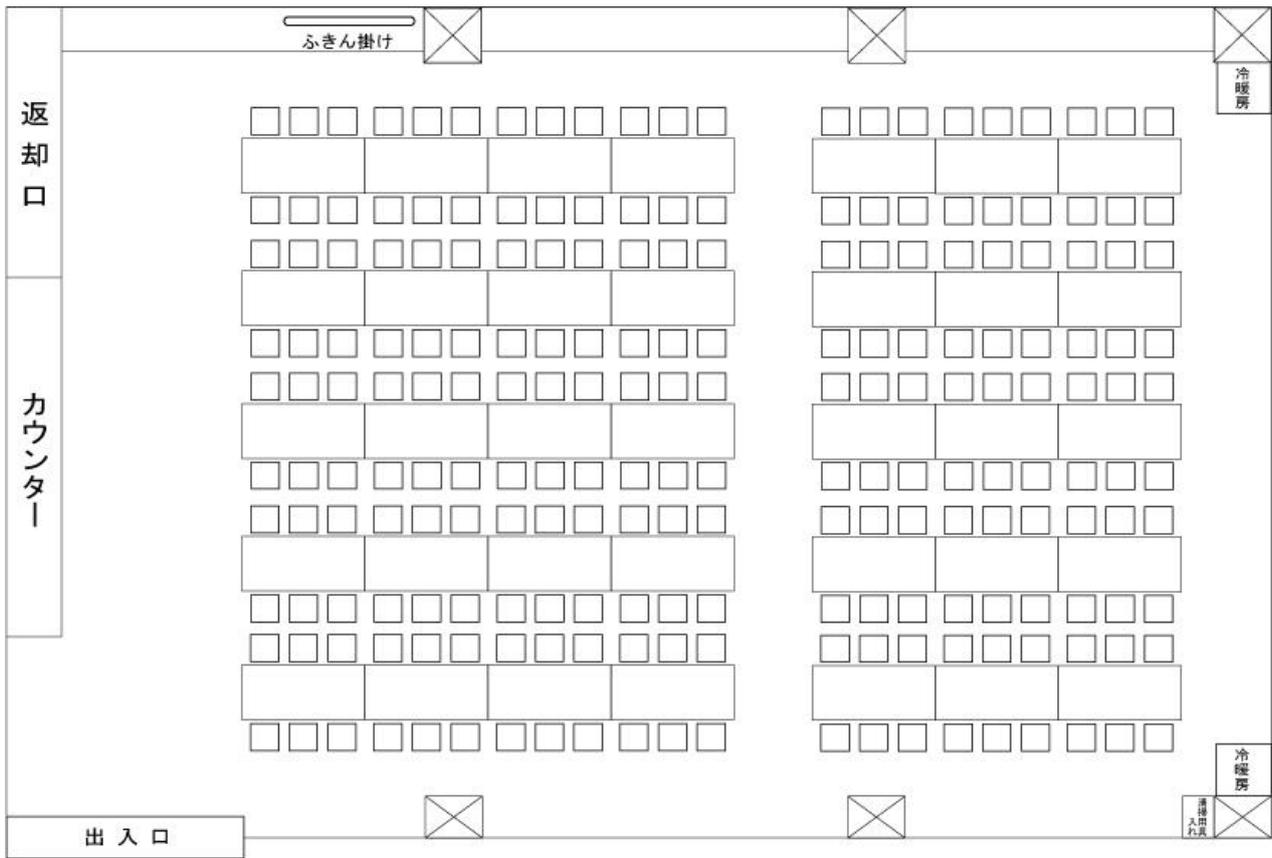
■ 全体図



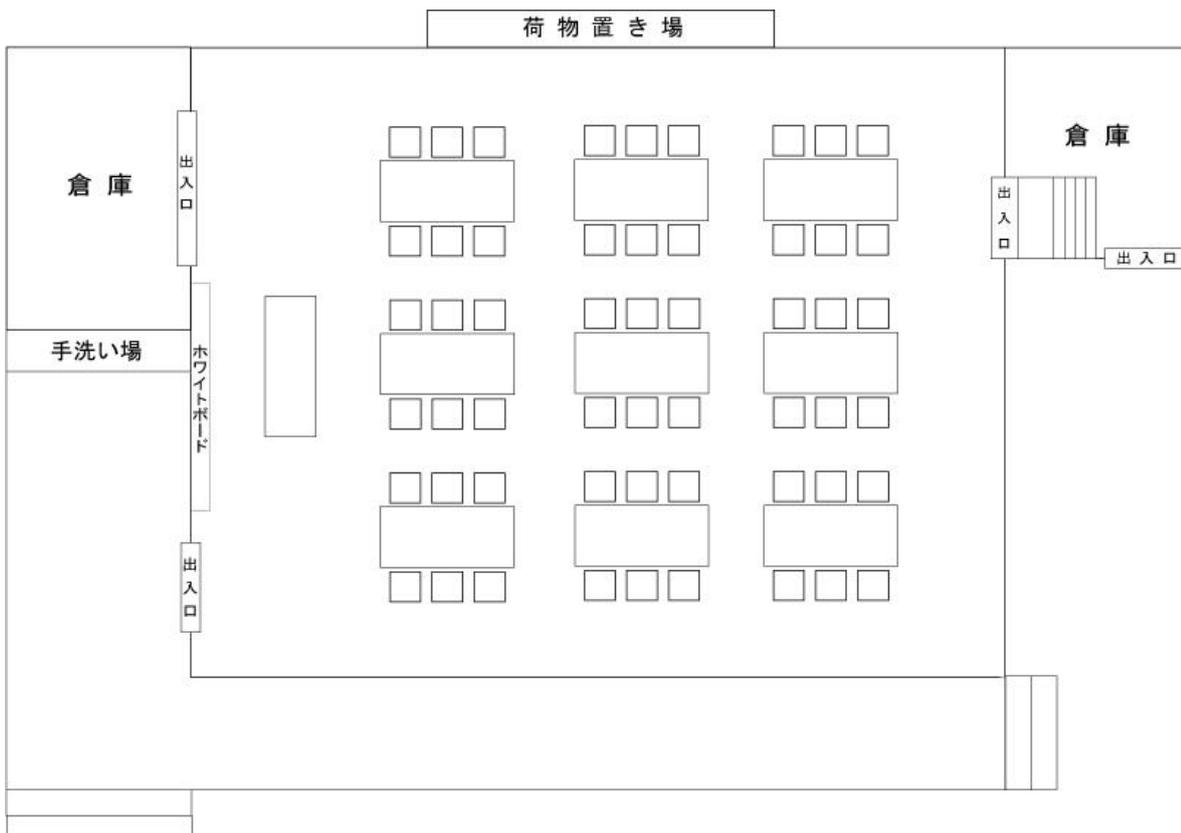
■ 館内図



■ 食堂配置図



■ クラフト棟平面図



プログラム資料

クラフト制作について

自然の家での活動を計画する際に、雨天時の活動を想定することも必要です。クラフト制作はそうした活動を補い、自然の家での記念になるプログラムとしても好評です。作業は比較的簡単ですから、時間の都合で取組ができなくとも持ち帰って完成させることもできます。

焼板

炊飯場のかまどで薪を燃やしながら焼くこともできます！

作品例	自然の家で準備しているもの	団体で準備するもの
	 <p>杉板・バーナー・ブラシ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○塗料(ペインテックス・ポスカ等) ○新聞紙(ぼろ布) ○ひも ○金具 ○軍手

キーホルダー・ペンダント

着色が中心の作業です。良き思い出の一品に！

作品例	自然の家で準備しているもの	団体で準備するもの
	 <p>ねじき(木)・金具・キーホルダー・ひも・きり・ペンチ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○塗料(ペインテックス・ポスカ等) ○紙やすり ○軍手 ○新聞紙

万華鏡

自然素材を中に加えればオリジナル万華鏡のできあがり！

作品例	自然の家で準備しているもの	団体で準備するもの
	<ul style="list-style-type: none"> ○はさみ 	<ul style="list-style-type: none"> ○のり ○セロテープ ○マジック ○色鉛筆 ○折り紙

キャンプファイア・キャントゥルファイアの準備・片づけについて

■キャンプファイア

自然の家には、2箇所の営火場があります。「事前協議会」で指定された営火場を御使用ください。

営火場A . . . キャンプ場

営火場B . . . 玄関横

[営火場A]



[営火場B]



(1) 準備 (トーチ棒は、事前に各団体で御用意ください。)

- ◇営火場中心部にあるコンクリート部分に、ファイア用薪5束(1束550円)を井桁に組みます。
- ◇天候が危ぶまれる時、事務室に連絡いただき、ブルーシートで覆います。
- ◇防火用バケツに水を入れ、周辺に用意しておきます。
- ◇ファイア用の火ばさみ、スコップも用意しておきます。
- ◇灯油(1缶100円)が必要な場合は、事務室に御連絡ください。

(2) 実施

(3) 片づけ

- ◇ファイアには水をかけずに、小さくまとめて朝まで燃やし続けます。
 - ※強風等荒天の場合の処置については、職員が連絡します。
- ◇朝の清掃時、残灰を一輪車に乗せ、残灰置場に捨てます。
- ◇御使用になられた用具を元の位置にお返してください。
- ◇灯油缶を事務室にお返してください。

■キャンドルファイア

プレイホール・研修室でキャンドルファイアの活動が可能です。

(1) 準備

◇プレイホール・研修室の中心部に
防火安全マットと大燭台を備える。



◇大燭台に必要数の大ローソク
(1本10円)を立てる。



◇小燭台(手持ち用、小ローソク
1本5円)を御使用なられる場合は、
必要数用意する。



◇使用済みローソクを入れるバケツ
を用意する。



◇大燭台・安全マットは、プレイホール・研修室にそれぞれ備えています。
ローソク(大・小)、手燭台、バケツは事務室に準備しています。

(2) 実施

(3) 片づけ

◇大・手燭台のローソクを消し、バケツに廃棄してください。

◇大燭台・安全マットをプレイホール・研修室の隅に移動してください。

◇御使用になられた大・小ローソクの本数を御確認の上、手燭台、ローソク、バケツを事務室にお返しく下さい。

キャンプファイアの活動例

家庭や家族を離れて宿泊する集団生活の中では、楽しい思い出として印象に残るのが、何といっても夜空一面に星がふりそそぐ下でのキャンプファイアである。

1 キャンプファイアの役割

(1) 営火長(ファイアチーフ)

キャンプファイア全てに責任をもち、はじめの言葉や終わりの言葉を担当する。

(2) 司会者(エールマスター)

キャンプファイアをプログラムに沿って進め、歌やゲームのリードをするとともに、全体の雰囲気を知り、盛り上げることに努めることが大切である。

(3) 営火係(ファイアキーパー)

雰囲気に合わせて、火を強くしたり弱くしたり加減する。複数での担当が望ましい。

(4) 火の使者(トーチランナー)

トーチを持って入場する。

2 準備物(☆印は自然の家で用意できる物、○印は団体で用意する物)

☆薪(100名で5~6束程度) ☆灯油 ☆バケツ ☆スコップ ☆一輪車

☆CDラジカセ☆ワイヤレスアンプ(テープ使用可)・マイクまたはハンドマイク

○新聞紙 ○マッチ ○トーチ棒(必要分) ○その他団体が必要な物

3 火床の組み方

4 キャンプファイアの進め方

(1) 整列し、全員に心がまえ等の約束ごとをする。

(2) 司会者の合図により入場する。(火床を中心に円陣をつくる。)

(3) 歌(「遠き山に日は落ちて」「夕やけこやけ」など)

(4) 火の使者を先頭に係員が入場する。(トーチに火をつけ、サークル内を一周し、点火口に前に横隊に整列する。)

(5) 営火長の初めの言葉

(6) 点 火

(7) 全員で合唱(「燃えろよ燃えろ」など)

(8) グループの演技

歌、ゲーム、フォークダンスやスタンツなど、誰でも知っているものや、全員でできるものを取り入れるよう工夫する。ユーモアに富んだ演出が効果的である。

(9) 営火長の終わりの言葉(最後を引き締め印象的に)

(10) 静かな歌を全員で合唱する。

(「一日の終わり」「今日の日はさようなあ」など)

(11) 退 場

5 指導上の留意点

(1) キャンプファイアの初めと終わりの儀式的な部分は、静かな雰囲気の中で行うようにする。

(2) プログラムは長すぎないようにし、グループ全体が参加できるものにする。

(3) 小道具、衣装はあり合わせのものを工夫して利用する。

(4) 暗がりの中でも安全であるように周囲を整頓しておく。

(5) 終わった後、スコップ等で炭を小さくし燃えつきるようにする。(翌朝清掃)

(6) 残灰の捨て場については、事前に所員の説明を受けておく。

[参 考]

『初めの言葉』

赤く染まった太陽が、るり溪の山なみに沈んでいくと、今までさえずっていた小鳥たちも遠くの山々にねぐらを求めて帰って行き、ここ少年自然の家もすっかりと夜のとばりに包まれてまいりました。

友だちと仲良く、力を合わせて、きびしい中にもやさしい先生の指導のもと楽しく充実した毎日を送っている皆さん、今この闇の中に灯された火を静かに見つめてください。

火は人間に与えられた宝物であり、今日の文明も火によって築かれました。

第1に……赤々と燃えるこの火は情熱の根源です。

第2に……暖かさと明るさを与えてくれる火は愛情の根源です。

第3に……闇の中の灯は人の進むべき道しるべの役を果たします。

どんな苦しみにも打ち勝つ情熱をもち、人を愛し、自己を完成し、人の進むべき道を示すことができる人間になってほしいと願っています。

聖なるこの火のもと、今宵楽しく過ごそうではありませんか。

『終わりの言葉』

この少年自然の家での生活を通じて、皆さんはたくさんの友だちを得ることでしょう。汗を流した野外での活動、背中を流し合った浴室、同じ食事をとり、一つの部屋で生活した友だち。

「人生とは出逢いであり、その出逢いは限られた人にしかめぐって来ない。また、それは二度と繰り返されることはない。」という言葉があります。

今日の日の出逢いを大切に、これからもお互いに励まし合ってください。

また、「友情は喜びを2倍にし、悲しみを半分にする」と言われています。

1本のトーチの火は小さいけれども、暗闇を明るく照らすことができました。ファイヤーの火は消えても、心の中にはいつまでも心のともしびを燃やし続けてください。

そして悲しいとき、うれしいとき、さみしいときは、この火と一緒に生活した仲間を思い出して力強く生き抜いてください。

キャンドルファイアの活動例

- 1 キャンドルファイアのねらい
 - (1)参加者の心をゆさぶり、深い印象と感激を与え感性を豊かにする集いである。
 - (2)火の暖かさを中心に連帯感、協調性、団結心を養う集いである。
- 2 キャンドルファイアの役割
 - (1)火の神……キャンドルファイアの責任者、初めの言葉、終わりの言葉を担当する。
 - (2)神の子……聖火の入場と点火、分火を担当する。(4名)
 - (3)司会者……全体の進行、歌やゲームのリードをするとともに雰囲気をつくる。
- 3 準備物(☆印は自然の家で用意できる物)
 - ☆キャンドル(大)、(小)(事前に当所に依頼しておく。)
 - ☆中央燭台 ☆手燭台…人数分 ☆安全マット
 - ☆ワイヤレスアンプ(テープ使用可)・マイク、CD ラジカセ
 - その他各団体で必要な物
- 4 キャンドルファイアの進め方
 - 【第Ⅰ部 儀式の火(静粛に)】
 - (1)静かに全員入場する。(燭台を中心に円く囲んで立つ。)
 - (2)歌(「遠き山に日は落ちて」「夕やけこやけ」「一日の終わり」など)
(初めは歌詞で、続いてハミングで、聖火が入場し場内を一周し終わるまで続ける。)
 - (3)聖火入場
(2)のハミングの中を、聖火を先頭に火の神、神の子が入場してサークル内を一周し、神の子は、火の神と向かい合って横隊に整列する。)
 - (4)先導者(聖火を持った神の子)は聖火を火の神に渡す。
 - (5)火の神の言葉(聖火を持ったまま)
 - (6)火の神の聖火から神の子のキャンドルに火を点ける。
 - (7)点 火
(神の子は中央燭台のキャンドルの上の方から点火していく。)
 - (8)分 火
(中央燭台に点火した神の子はサークルの四隅へ移動し、両隣の人に分火、順々に火を移していく。)
 - (9)歌(「燃えろよ燃えろ」「ふるさと」「若者たち」など)
(全員のキャンドルに分火し終わったら歌う。歌が終わってから室内灯を点火し、各自のキャンドルを消す。)
 - 【第Ⅱ部 交歓の集い(愉快地に楽しく)】
 - (1)各班毎にスタンツの発表
 - (2)歌、ゲーム、フォークダンスなど、誰でも知っているものや全体でできるものを取り入れる。
 - (3)退 場
(ハミングの続く中を火の神を先頭に静かに退場、全員が退場し終わったら、キャンドルを回収する。)
- 5 指導上の留意点
 - (ア)プログラムは長すぎないようにし、グループ全体が参加できるものにする。
 - (イ)小道具、衣装はあり合わせのものを工夫して利用する。
 - (ウ)児童、生徒の発達段階を考慮し、創意工夫を引き出すようにする。
 - (エ)キャンドルのろうを床に落とさないようにする。

深山ハイキングコース案内

所要時間：3時間30分程度

コース：自然の家 → ハイキングコース起点 → 深山山頂 → 分岐1 → 分岐2 → 自然の家

約1.5キロ 約2.4キロ 約2キロ 約0.7キロ 約1.6キロ 計 約8.2キロ

約30分！ 約1時間30分 帰途は約1時間

The map includes labels for: 深山神社 (Miyama Shrine), 深山山頂 (Miyama Peak), 分岐1 (Bifurcation 1), 分岐2 (Bifurcation 2), 自然の家 (Natural Home), ハイキングコース起点 (Hiking Course Start), りり溪温泉 (Riryu Onsen), りり溪ゴルフクラブ (Riryu Golf Club), お食事処 深山 (Miyama Dining Room), 少年自然の家 (Youth Natural Home), みどりと憩いの公園 (Miyama Park), 深山791 (Miyama 791), 至徳山 (Shitoku Mountain), 舗装路 (Paved Road), レーダー観測所 (Radar Observation Station), ピーク付近 (Near Peak), ピーク付近からレーダー観測所を望む (View of Radar Observation Station from Near Peak), ピーク付近からりり溪方面を望む (View of Riryu Area from Near Peak), 分岐1 (Bifurcation 1), 分岐2 (Bifurcation 2).

Photographs include: レーダー観測所 (Radar Observation Station), レーダー観測所前広場 (Radar Observation Station Front Plaza), 舗装路 (Paved Road), ピーク付近 (Near Peak), ピーク付近からレーダー観測所を望む (View of Radar Observation Station from Near Peak), ピーク付近からりり溪方面を望む (View of Riryu Area from Near Peak), 分岐1 (Bifurcation 1), 分岐2 (Bifurcation 2), and a sign for 深山ハイキングコース (Miyama Hiking Course).

クイズラリーマップ

■標準コース (90分)



スタート:	時	分
ゴール:	時	分
所要時間 ()	分

チェックカード

班 名 前

■最短コース (20分)

スタート → ① → ② → ③ → ④ → ⑤ → ⑥ → ゴール

■中級コース (50分)

スタート → ① → ② → ③ → ④ → ⑤ → ⑥ → ⑦ → ⑧ → ⑨ → ⑩ → ⑪ → ⑫ → ⑬ → ⑭ → ⑮ → ⑯ → ⑰ → ⑱ → ⑲ → ゴール

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

京都府立るり溪少年自然の家 周辺マップ



◆自家用車、貸切バスで

★京都縦貫道千代川 I Cより 18 km (車で約 30 分)

★ J R 園部駅より 18 km (車で約 30 分)

※土日宿のみ路線バスあり

★中国池田 I Cより 32 km (車で約 50 分)



こちらのマークは、京都府立るり溪少年自然の所章です。全体は、少年の「少」の字を表わし、上部は奥るり溪にある深山連峰を、右辺は、ひらがなの「る」の字を形どり、通天湖やるり溪の溪流を表現しています。

左の、R・Y・N・S・Cは、Rurikei Youth Nature Study Center（るり溪少年自然の家）の頭文字です。